

親子聖書日課

[日]困難に直面すると、酒で紛らわす人がいます。その人は、主の備えて下さる救いの手を見過ごし、嘲ります。10節は、酒に酔ってろれつが回らない様子です。酒に酔わないで、むしろ新しい酒である聖霊に酔いましょう。躓き、倒れません。

[月]「貴い隅の石」は主イエスのことです。この石を土台として、教会も信仰も立てられます。主を「固く据えられた礎」とする人は、どんな試練もびくともしません。この石を土台とするには、主を第一として生活する一御言葉に聴き従うことです。

[火]どれ程、口で主を敬っても、心から主を信じ、従っていなければ、主から「遠く離れている人」です。ありのままの自分を主の御前にさらけ出していますか。悔い改めて、静まって主に祈りましょう。必ず、主の力は弱き所にこそ働いて下さいます。

[水]「主に立ち帰って、信頼すれば救われる」と民は聞きながら、馬(この世)に頼りましたから、滅びに至りました。試練の時も、主は万事を益として下さいます。慌てず、静まって主に祈りましょう。必ず、主の力は弱き所にこそ働いて下さいます。

[木]「災いのパンと苦しみの水」(捕囚の経験)も、主を待ち望む者にとって大きな恵みとなりました。主が牧者となって常に導かれたことを知ったからです。「これが行くべき道だ、ここを歩け」と背後から語られる主の言葉に、迷わず従いましょう。

[金]エジプトと同盟を結んで難局を切り抜けようとする者への警告です。政治や外交が悪いのではありません。神をないがしろにし、自らを改めないで、安易な道を選ぶところに問題があります。本当に頼りになるのは、人ではなく、神です。

[土]正義があつてこそ、平和が生まれます。私達も自分の罪をそのままにしていると、平和は得られません。悔い改めて、主の救いを受け入れてこそ、平和になります。教会は「安らかな宿、憂いなき休息の場所」ですから、ほっとできるのです。



NO.1894 2025.1/12-18

名前

	聖書	問題	答え
日	イザヤ 28:1-13	何のゆえに迷いますか	
月	28:14-29	主がシオンに据えた石は、貴いどんな石でしたか。	
火	29:1-24	唇で私を敬うが、何は私から遠く離れていますか	
水	30:1-17	どのようにしていることこそ、力がありますか。	
木	30:18-33	あなたの耳は、どこから語られる言葉を聞きますか。	
金	31:1-9	主は災いをもたらし、御言葉をどうされることはありませんか。	
土	32:1-20	正義を生み出すものはとこしえに何ですか。	
		感想と祈りの課題	